



花北青雲PTA会報

第107号

発行：令和6年3月 花北青雲高等学校PTA広報委員会



挑め、学べ

PTA会長 市川清志



日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

うございます。地域の皆様をはじめ、花北青雲高校の生徒達の活躍にご支援ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

人は皆、生まれ育った環境は異なり、様々な価値観を持っていきます。自分の人生経験で培った尺度だけでは他人や社会を理解することはできません。そのような中、花北青雲高校は総合的な専門高校として、工業・商業・生活の各分野を学ぶ生徒達が「同居」することが大きな魅力であり、確かな職業観の育成と対人関係力の醸成に尽力いただいた先生方のご指導に感謝申し上げますとともに、保護者として花北青雲高校に入学させて良かったと心から御礼を申し上げます。

就職や進学、新しいステージに立つ皆さん。花北青雲高校で学んだ3年間は有意義なものだったでしょうか。誰しも一つや二つ、回り道

をしてしまったことや、あの時こうすればよかったなど後悔があるものです。しかし、後悔や挫折は決して無駄ではありません。そうした経験があるからこそ役立つことが必ずあります。どんなに幸せな人も、今に至るまでの過去には何かしら失敗した経験を持っているものです。まだまだ君たちは若い。失敗を恐れずに挑戦し続けてほしい、未来へ踏み出してほしいと思います。そして、本当の学びはこれからだという意識を持つてください。就職をすれば専門的な知識が必要であり、これまでに以上に「学ぶ」必要があることを実感すると思います。進学ももちろんです。学ぶ意識があるかないかで君たちの人生が変わると言っても過言ではありません。大丈夫、花北青雲高校でみんなと学ぶことができたことを自信として社会に羽ばたいてほしいと思います。



キャリアデザイン

校長 小松了



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し

して、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。まだまだ寒い日が続いておりますが、一日ごとに日も長くなり、暖かな春の訪れを感じることも多くなってきました。

3年生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を迎えられましたこと、教職員一同心よりお慶び申し上げます。

長きに渡って猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、昨年の5月には感染症法上の位置づけが5類へと移行し、教育活動に対する様々な制約も解かれ、やっとな通常の教育活動が行われるようになりました。思えば今の3年生の生徒は、中学時代を含め、常に何らかの制約の中で、貴重な青春時代を過ごしてきました。その生徒達にとって、高校時代の最後の年に、通常の学校生活を送れるようになったことは、制約から解放さ

れ、少しでも多くの思い出を刻むことにつながるものであり、何よりの喜びだったことと思います。とはいえ、4年に渡るコロナの影響は大きいものであり、生徒にとっても我慢の毎日だったことは間違いありません。

しかし、コロナの影響を受けた学校生活も決してマインナスばかりではなかったと思っております。それは、コロナにより学校の活動が制約される中でも、日常の学業や部活動、生徒会活動や行事など、やれることを皆で考え、工夫を凝らしながら取り組んだ経験は、自分自身を成長させることができた、かけがえのない経験であり、自分の人生の貴重な財産となったことと思うからです。また、この4年間は保護者の皆様にも大変なご負担とご迷惑をおかけした期間になりましたが、学校活動に対する皆様のご理解と、温かいご支援を賜りましたことに、改めて感謝を申し上げます。

さて、4月に本校の校長として着任し、着任式の壇上から生徒を見た時、生徒

は真っ直ぐに立ち、その視線は外すことなく私に向けられ、話したことを聞き漏らすまいとするような眼差しで見つめていました。何と素晴らしい生徒達だろうと感激したことを今でも覚えております。その素晴らしい生徒達が学ぶ青雲高校は、地域からの期待も大きく、青雲生に対する各企業等からの評価も高いものがあります。

卒業を迎えた3年生の皆さんは、これまでの先輩方がそうであったように、これから進むそれぞれの進路で、本校で培った知識や技術を存分に発揮してもらいたいと思います。

今の日本社会には、ウェルビーイングという考え方があります。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的にも満たされた状態のことです。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念のことをいいます。このウェルビーイングの考えは、本



第72回東北地区 高等学校PTA連合会

福島大会に参加して

令和5年7月7日(金)
パルセいいざか

PTA副会長 平賀 弘典

校の教育目標である「キャリアデザイン」自分らしい生き方の設計』に通じるものがあると思っています。なぜなら、自分の生き方を自分で選び、人生をデザインする力を身につけることは、自分の生きがいや人生における幸福感につながるものであり、今求められているウェルビーイングの考えに結びつくものではないかと思えるからです。この素晴らしい教育目標の下で学んだ青雲生が、それぞれの環境で活躍することを期待してやみません。

結びに、本校の生徒たちが、これからの社会に貢献できる人材となるよう、教職員一同、全力で指導・支援してまいりますので、生徒たちの成長を支援し応援していくために、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

今年度は「届けよう、エール〜未来を切り拓く子どもたちへ〜」というスローガンのもとに福島市で開催されました。東北各県の代表発表があり、各校とも子どもたちのために保護者と学校が協力して取り組む様子を発表会ら感じ取ることができました。

示や出店、学校美化運動、花いっぱい運動、他校とのPTA交流会、体育祭でのサポート、マラソン大会時に芋汁振る舞い等々の報告があり各校工夫を凝らして直に生徒と触れ合ったり、保護者が楽しむ内容だったことが印象に残りました。

花北青雲高校でも工夫次第では生徒のためにPとTが協力して盛り上げられる企画も、まだあると思います。今回、各校の発表を聞くことによって新たな視点で学校に携われることを感じました。是非とも保護者の皆さんも先生方と協力して学校を盛り上げていくから幸いと思います。

どの報告でも学校の特色を活かしてPTA活動に組み入れていました。例として、挨拶運動、文化祭に展



ロードレース大会

ロードレース大会 の応援活動

母親委員長 菅原 智子

青雲恒例のロードレース大会が10月18日に行われました。「青雲のロードレースの日は滅多に雨が降らない」と聞いていましたが、確かに当日は晴天となりロードレース日和。昨年度に引き続きPTA役員と母親委員で応援活動に参加させていただきました。

スタート地点で「頑張れ」と見送り、沿道で応援し、ゴール地点でご褒美の力あんばんんとドリンクを「ご苦労さま」と渡しました。上



位を目指して走ってくる子。自分のペースで黙々と走る子・仲間と一緒に頑張っている子：等々生徒それぞれでしたが、自分なりの走りで満足したり楽しんでいたりして、完走できた顔はどれもいいものでした。

ゴールで「ありがとうございます」「大きい力あんばんだ」と喜んでご褒美を手にする姿は、普段では関わることもない生徒たちと接することができてとても楽しいものでした。楽しすぎた余り張り切って半数くらいの生徒に私一人で配ってしまったような気がします。せっかく参加していただいた他の委員の皆さんに

本当に申し訳なかったと反省しています。(笑)
来年度からはぜひこの楽しさを皆さんで分かち合い、素敵な活動が続いていくことを願っています。

ロードレース大会

2年D組 熊谷 楓

私たちが2年D組は、一人ひとりが最後まで諦めずに頑張る練習し、ロードレース団体の部で優勝することができました。

最初のロードレースの練習では、授業に向かう全員の足取りが重くなっていました。しかし、いざ練習が始まるとそれぞれが自分のベストを尽くして走ったり、お互いに応援し合ったりしながら、努力を積み上げていくようになりました。クラスメイトの中にはゴールで待っている先生に木の枝や花を持ち帰り、プレゼントする人もいました。全員が辛い練習の中でも楽しみを見つけたながら笑顔で取り組んでいました。

本番は緊張感が漂っていましたが、その緊張を自己ベストを出したいという前向きな気持ちに変えてレースに挑みました。その結果、全員が最後まで諦めずに走り切り、2年D組が団体の

部で優勝することができました。とても嬉しかったです。ロードレースを通して身に着けた「何事も楽しみながら全力でやり通す」ということを今後の学校生活で活かしていきたいと思えます。最後にロードレースの運営に携わってくださった皆様に感謝します。ありがとうございました。



令和5年第58回 校内ロードレース大会結果

★特別表彰 (58位)

3 C 牛崎 裕耶
1 B 高橋 絵南

★連続栄誉賞

3 A 土屋 伯斗
3 A 平賀 翔太
3 B 小山田泰地
3 B 佐々木悠仁
3 D 河野 里穂
3 D 佐藤 鈴緒

★部活動部門 (1位)

バドミントン部男子
バドミントン部女子

★団体

1位 2年D組 78.88
2位 3年D組 80.5
3位 1年D組 86.34

男子 8Km	年組	名 前	所 属 部	記 録
1位	3 A	土屋 伯斗	陸上競技	29分38秒
2位	1 C	照井 晴空	バドミントン	29分40秒
3位	2 A	菅原 慎人	バドミントン	29分50秒
4位	1 B	八重樫駿斗	陸上競技	30分0秒
5位	3 A	平賀 翔太	バドミントン	31分0秒
6位	2 A	小山 大翔	バドミントン	31分10秒
7位	3 B	佐々木悠仁	陸上競技	32分0秒
8位	1 C	上川 統志	バドミントン	32分5秒
9位	1 C	高橋 好誠	バドミントン	32分21秒
10位	3 B	小山田泰地	バドミントン	32分32秒

女子 4Km	年組	名 前	所 属 部	記 録
1位	3 D	佐藤 鈴緒	バドミントン	16分19秒
2位	2 D	熊谷 楓	バドミントン	17分23秒
3位	1 D	寒川 透和	陸上競技	17分30秒
4位	2 D	黒田 紗希	バドミントン	17分40秒
5位	1 C	麥倉 花	バドミントン	17分54秒
6位	1 B	日向端優葉	バドミントン	17分57秒
7位	2 B	上野 結愛	陸上競技	18分19秒
8位	3 D	河野 里穂	陸上競技	18分23秒
9位	2 D	藤村 芽依	バドミントン	18分48秒
10位	1 C	菊池 心実	陸上競技	18分54秒

全国大会に 参加して

インターハイに参加して

3年A組 平賀 翔太

北海道で行われたインターハイに出場することができました。インターハイに出場できたのは日々の練習を欠かさずいつも全力でやってきたからこそだと思います。そして忙しい中教えてくださった先生方や、同級生、下級生そして、OBがいたからこそだと思います。インターハイに出場したのは初めてだったのでとても嬉しく、その中に緊張もありました。去年はインターハイがかかった試合で負けとても悔しい思いをしたので今年こそと強い気持ちで取り組んで来た成果が実り嬉しかったです。

4シードの富山県高岡第一高校と当たりました。相手は自分達よりも格上だったけど負けまいと喰らいつき、結果は1-2で負けてしまったけど今まで一番満足する試合が出来たので良かったです。

最後にこの経験を通じて努力とチームワークの大切さを学ぶことができました。インターハイは自分達にとってただの大会ではなく、人生の貴重な1ページとなりました。

インターハイに出場して

3年C組 小山田泰地

私は、8月16日から北海道札幌市で開催されたインターハイのダブルスに出場してきました。インターハイに出場することは、中学校を卒業する際にクラス全員の前で宣言していたこともあり、高校生活の中で一番達成したかった目標でした。そのため、出場が決まった瞬間とても嬉しかったです。これを覚えていきます。また、この大会は3年間の集大成の大会でもあったため、プレーを楽しみながら、自分の力を出し切ることを目標に取り組みました。



私は、中学までシングルスを中心に組み組んできました。そのこともあり、高校に入學してからダブルスも同時にしていかなければいけないことは、とても不安なことがあり、どのような配球をし、どのような展開を作り上げていけば良いのかが分からず、大変でした。また、高校生はパワーや体力があり、1年生の頃はラリーについていくので精一杯になっていました。そのため、私は分からないことは積極的にペアや友人に相談しながらダブルスのプレーの基礎を固めたり、自主的にトレーニングに取り組んだりしながら、力を少しずつ付けていくことが出来ました。

そしてその成果が実り、県高総体では準優勝し、インターハイでは2回戦出場を果たしました。1回戦目の南風原高校との対戦では、緊張で動きが固くなってしまいました。しかし、それぞれの攻撃力を活かした、攻め続けるプレースタイルで勝ち切る事が出来ました。2回戦目の高岡第一高校のシード選手との対戦では、私達は追う立場であったため、

比較的楽な気持ちで試合に臨みました。最終的にあとな少しの所で力及ばず負けてしまい、悔しさもありました。ですが、1回戦目からオンラインによる応援の力も感じながら、自分達が思っていた以上の力を発揮し、最後は笑顔で終わることが出来たので良かったです。私にとって、これまでの部活動での経験はとても貴重なものばかりでした。これからは、自分の経験を後輩にしっかり伝え、青雲が全国でも勝ち上がっていきけるように、サポートしていきたいと思っています。

インターハイを通して

3年C組 森 柑奈

私は高校一年生の時からインターハイを経験してきました。一年生の時は、団体戦のメンバーとして出場しましたが、試合には出ませんでした。ですが、チームで勝利をつかむために、先輩方一人一人が全力で戦っていたのを見て、私も団体戦メンバーとしてだけでなく、



個人戦でもインターハイの舞台に立ちたいと思いました。二年生の時は、個人戦は県一位通過でインターハイに出場することが出来ましたが、団体戦は出場することが出来ず、とても悔しかったです。インターハイではダブルス一回戦を突破できたことは大きいと思いますが、やはり、団体戦で出場できなかったことが心残りでした。また、岩手のレベルの低さを実感した大会でもありました。

三年生の時は団体戦も個人戦も出場することが出来ました。念願の団体戦出場も叶ってとても嬉しかったです。ですが、不安もありました。団体にしても個人にしても、岩手県で一位でも全国に行っている自信もなかったので、勝ちにこだわってしまうこともありました。

ですが、最後のインターハイなので、勝っても負けても、全力で挑んで、全力で楽しみたいと思いました。結果は、団体戦は二回戦敗退、ダブルスは一回戦敗退でした。団体戦では、試合に出る人も応援する人もどちらも本心に全力を出

し切って、チームのために戦っていて、今までで一番良い団体戦の試合でした。個人戦は初戦敗退で悔しかったですが、私的には全力で楽しく試合することが出来ました。

引退するまでの期間、いろいろな経験が出来て、とても貴重な時間を過ごすことが出来ました。また、ダブルスも大分成長できたと思います。ですが、私がかまでいろいろな経験を重ねて成長できたのは、ずっと向き合ってくださった顧問の先生の方々、一番そばで応援してくれた両親、お互いに士気を高めあってきたチームメイト、二年間ずっとダブルスを組んでくれたパートナーがいたから、私はここまで成長できたと思います。部活動で経験し、学んだことは、これからの生活でも活かしていきたいと思いました。

国体に参加して

3年C組 佐藤 鈴緒

私は10月13日から鹿児島県で行われた特別国体少年女子の部に参加しました。大会前は進路活動との両立が難しく、満足に練習ができなかったため少し不安がありました。それでも少ない練習時間を大切に、2人

で話し合いながら良い状態で臨めるよう準備してきました。1回戦は岐阜県と対戦しました。第一ダブルスに出場し、序盤からリードされる展開でストレート負けしてしまいました。攻撃で得点に繋げる場面があまり多くなかったこと、ラリーを勝ち切る力不足が敗因だと思います。国体は1日とは違う雰囲気違った緊張感がありました。高校最後の全国大会でもあり、ラリー間に声を掛け合って笑顔でプレーできたので、自分たちの雰囲気を崩さずに行きました。これまで様々な全国大会に参加させていただいたことは本当にありがたいことであり、私だけでは絶対にできなかったこととです。1年生から一緒にダブルスを組んでくれた柑奈や熱心に指導してくださった清一先生をはじめ顧問の先生方やコーチ、OBの方々、支えてくれた家族や友人、



高知県国体 別国民体育大会 バドミントン競技

他校のバドミントンに励む仲間たち、互いに高めあってきたチームメイトのおかげです。本当に心から感謝しています。この感謝の気持ちは今までと同じく、競技に向き合う姿勢や大会結果、プレーで恩返ししたいと思います。大学進学後も競技を続ける予定のため、さらに実力を向上させたいです。また、残りの高校生活の部活動では後輩に県大会優勝を引き継いでもらえるように自分ができる最大限のサポートにも励んでいきたいです。

全国大会に出場して

3年C組 川村 真鈴

私たちは8月1日から5日までの5日間、全国高等学校総合文化祭の小倉百人一首部門に出場してきました。この大会では5月に行われた予選大会で勝ち抜いた上位8名が大会に参加することとなります。花北青雲高校からは私のほかに齋藤光希さん、中村亜梨栖さんの3名で出場しました。

出場が決まった後は大会に向けてひたすら練習を繰り返しました。競技かるたは一試合の試合時間が1時間と長いうえに、平日の部活動は限られた時間内で取

り組まなければならぬため、苦手な所を中心に効率よく時間を使うことに注力しました。また、部活動の時間にOB・OGの方に来てもらい私たちの練習に手伝ってもらいました。そのときに細かい技術の部分やメンタルの保ち方、チーム戦においての札の送り方などを教えていただきました。その後練習試合も重ね、準備万端の状態で大会に臨みました。



試合をすることができました。練習してきたことを完璧にではなくとも発揮することも出来てよかったです。その中で負けてしまったもののメンタルなどの技術面以外にも学べたことは多くありました。

この経験は部活動だけではなく、これから私たちが生きていくうえでも活用することができると思います。そのためこの大会は私たちにとってとても爽りの大きいものとなりました。

後輩の方は私たちが成すことのできなかった全国大会で試合に勝つということを目指して日々練習に励んでいてほしいです。

最後に私たちの活動を支えて下さった部活動の仲間や顧問の先生、かかわって下さった関係者の皆様、本当にありがとうございました。



全国大会に出場して

3年B組 工藤 晴

私がこの高校に通い始めてから三年という時間が過ぎました。その学校生活を振り返ると、たくさんのお出迎えが思い出されます。とても充実していた高校生活。コロナウイルスの影響で制限されていた高校2年間で乗り越え、三年生から初めての体験を、決して当たり前でない貴重な体験を、私たちはできたと思います。

私は三年生の夏、全国ビジネス計算競技大会の珠算の部に出場しました。一、二年生の時は、コロナウイルス流行のため、自粛していましたが、規制が緩和され、出場する決断をしました。結果として、全国大会入賞という高い目標には届きませんでした。すが、すごく特別な経験が出来たと思っています。大会前、学校では休憩時間、家では夜遅くまで問題演習をする忙しない日々。あの頃は楽しくもあり苦しくもありまし



たが、今思い返すと青春の一部になっていました。全国大会は岩手県大会とのレベルの違いを見せつけられましたが、有意義な時間を過ごすことができました。



この経験をする事になった。大きなきっかけが珠算部に入部したことです。珠算部は掛け持ちという形で所属していました。小学生のころから珠算を習っていたので、挑戦してみようという単純な動機でしたが、もう一つの部活と両立するという覚悟も持ち入りました。二つの部活を両立することは、想像以上に大変でしたが、この選択をして忘れられない体験ができたと思っています。後輩のみんなにも、時には大変でつらい思いをすることも少なくはないと思います。たくさん良い経験をし、良い経験を積んでほしいと願っています。

私たちは、コロナウイルスなどの影響で、思うような高校生活を送れる人は少なかったと思います。ですが、そのような状況だったからその楽しさがありました。この経験を活かし、今後どんなことでも一生懸命取り組みたいと思います。

全国大会の反省

2年A組 中村 耀

今回、全国大会の代表として出場したが、私自身が納得のいくような成果を出すことは出来ませんでした。理由は二つほどあります。

一つ目は、大会会場で発生した想定外のパソコンの不調が発生したこと。これまでの準備の段階では発生していなかった事態でもあったが、パソコンの不調を起すことという可能性を想定していなかったのが原因です。ですが、今回の不祥事を経て、想定で考えておいたほうが良い事態の一つを学ぶことができたので、無駄なことになってはいないと思います。

二つ目は、純粹に私自身の実力不足だと考えます。全国大会ではほんの数回の大会コースでの試走で完璧にプログラムを仕上げなければなら

ないのですが、私の調整を合わせる力が足りませんでした。普段の合わせ方では力不足であることを把握出来ませんでした。また、経験量の不足も一つの原因だと考えます。どのく



らいの時間で、どれくらい距離を走行できるのかを、完全に理解できていなかったことが響きました。事前準備が不足していたことが招いた結果だと考えます。けれど、今の私に何が足りていなかったかを知ることができ、次の目標を立てることにつながりました。

今大会では、十分な実力を発揮できず、成果を出すことが出来なかった。しかし、次に向けて改善すべき点を発見することができた。大会に出場して発生した普段の活動の中では確認できなかった起こりうる非常事態を知れました。失敗を経験しなければ前進することは難しい事を痛感しました。今回の失敗から学び、次の大会に向けて技術の向上、プログラムのスムーズ且つ正確な組み上げが出来るよう精進していきます。

大会を通じて思ったことがあります。それは、全国の高校の取り扱っている技術の交流がいかに今後に関わってくるかということを実感したことです。自分たちの技術だけでは、どれだけの時間を費やしてもいつか



の日には限界が来てしまいます。ですが、他校との交流を通じて、新しい技術に触れることができました。実際に、私自身も交流の中で、新しいプログラミング技術を学べました。全国大会ならではの収穫だと思います。地区大会では、強豪校の数は限られていてしまいます。結果として、手には入る物にも限りが出て来てしまいました。しかし、全国大会ともなると強豪と言える高校の数も一気に増加します。それに比例して、手に入れられるプログラミング技術も増加します。だから、私は全国大会は一つの交流会だと思っています。

私は、大会で多くの事を学び、どれも今後の成長に関わってくる貴重な経験だったと思います。今大会で犯した失敗の数々を踏まえ、次に備えて行きます。そして、技術者としての私個人の成長の糧として将来につなげていきます。



体育祭





青雲祭



講話を聴いて

食育講話

令和5年10月24日(火)

「将来に向けての

食生活のポイント

身体づくりに向けて!」

講師

岩手県文化スポーツ部

スポーツ振興課

上席スポーツ医・科学専門員

高橋 一男氏

3年D組 押切 愛佳

自分が将来健康な体で過ごすためには、今のうちから体をしっかり動かし、規則正しい生活を意識する必要があります。私には部活動を引退してからあまり体を動かす機会がなくなってしまう、体力や筋力が落ちたと感じるようになりまして。今回の講話を聞いて、より運動の大切さを知ったので、時間を見つけて運動をしようと思えます。

また、健康のためには食事も大切だと学びました。普段からいろいろな食材をバランスよく食べたり、朝は温かいスープ等を飲んだり、できるだけ健康的な食生活

を意識していますが、朝遅く起きた時は朝ごはんを食べない時があったりするので、気をつけたいと思います。

将来、大人になったときに苦勞しないように、今のうちから規則正しい生活リズムと適切な食事・運動を心がけたいです。



くすりの講話

令和5年11月21日(火)

「医薬品と健康・お薬手帳の使い方について」

講師

フロンティア薬局

学校薬剤師

田村 宏明氏

3年B組 佐々木青空

飲み薬の飲み方や目薬のつけ方について、今まで間違えて使っていたことを今回の講話で知ることができました。

現在、風邪薬不足が問題

となっている中、感染症にならないためには、体調や環境を整えることが大切になるので、マスクの着用、手洗い・うがいなど、できることを意識してやっていきたいと思えます。また、自分のためだけでなく、周りの人にうつさないためにもワクチンは打つべきだと思います。そして、家ですぐに使用できる薬を常備しておきたいと思えます。今日学んだことを自分だにも伝えて、みんなが安全に薬を使用できるようにしたいです。



がん教育講演会

令和5年11月28日(火)

「がんの予防、治療、緩和ケア」

講師

患者さんと家族を支えるチームの力

講師

岩手県立中部病院副院長

星野 彰氏

1年D組 近谷 真悠

がんは日本人の死因の第1位で、2人に1人が経験し、3人に1人が亡くなるということを知って、がんは身近な病気だということに改めて感じました。

今までの私のがんに対してのイメージは、つらい・苦しい・痛いというものでしたが、がん治療には様々な方法があり、技術の進歩によって痛みが楽になりつつあるということや緩和ケアでは、気持ちの面までサポートしていることが分かりました。

そして、がん治療には、医師だけでなく、看護師や薬剤師、栄養士・調理師の方など、たくさんの方がチームで患者さんに寄り添っていることを知りました。

もし今、家族や身近な人、もしくは自分ががんになったら...と考えると、とてもつらい気持ちになります。そのため、がん検診を受けることや、がん予防(たばこ・食事・身体活動)に気を付けて長生きしてほしいと思えますし、自分自身も心がけたいと思えます。

がんの治療中の生活をいかに快適に過ごすか、また最後の時間をどう使うかなど、一人一人に寄り添い考えている星野先生の実際のエピソードは貴重で、とても価値のある時間でした。



薬物乱用防止講話

令和6年1月16日(火)

「不正薬物乱用防止と税関の役割」

講師

函館税関釜石税関支署

支署長 宗 和俊氏

1年C組 島山 凌雅

税関の「税」は税金、「関」は関所であることを知りました。日本には、9つの税関があり、空港や港で、薬物や銃などの密輸入品の取り締まりや関税の徴収などの役割を果たしていることが分かりました。

薬物乱用とは、医薬品を本来の治療目的からはずれた方法で使用したり、覚せい剤や大麻などの法律で禁止されている薬物を使用したりすることです。使用が禁止されている薬物は一度でも使用すると乱用で、依存してしまい自分ではやめられなくなる、非常に危険なものだということを再確認することができました。また、大麻については、若年層を中心に検挙者が増えている、きっかけが「誘われたから」という人が8割もいることに驚きました。誘われてもきっぱりと断る意志が大切だと強く感じました。

薬物を乱用するということは、周囲の人々に迷惑をかけてしまい、自分の人生に影響を与え、一つも得をすることは無いということを意識して生活していきたいと思います。



一年間の軌跡

情報工学科

出前授業を通して

情報工学科 福島 豊

今年度は、8月2日(水)石鳥谷学童クラブ、8月3日(木)古館子どもの家、8月7日(月)宮野目学童クラブの3ヶ所で行ってまいりました。低学年グループでは、手回し発電機と発電活用装置を利用して、発電・蓄電について学習したのち、発電量やLEDの点灯速さを競うゲームを行いました。高学年グループでは、LED照明付きキーホルダー作りにおいて、LEDの発光色を選択させて各部品組み立てを行いました。講師を担当した生徒たちは、部品の固定・ケースの接着・穴開け作業等の補助を行い、不具合個所の調整で少し手こずりながらも参加児童全員完成させることができました。動作確認後には自由に色づけ作業をしてもらいとても喜んでいました。各グループを担当した生徒たちは、児童たちに「ものづくりの楽しさ」や「教えることの

楽しさ」を伝えることができてもよい機会であったと感じています。昨年引き続きの出前授業ではありましたが、実施回数・参加児童生徒数が増えたことで、多くの準備が必要となり、放課後や休日を利用して、3Dプリンタでのケース作りなどを頑張っており取り組んでくれました。今後も地域の小中学校への出前授業を実施することによって、本学科の魅力を伝えるため更なる情報発信をしていきたいと考えています。



3年「課題研究」 ビジネスグランプリ

ビジネス情報科

生徒が主体的に行動し、新しいビジネスプランを考えました。企業へのヒアリングなどを通してビジネスの知見を深め、地域の未来を創造するきっかけとなりました。



地域貢献活動① 朝市「ひといち」

朝市での商品販売を通して、地域の皆様と交流を深めることができました。



地域貢献活動②

中央通りin
青雲チャレンジ
with
石鳥谷CAT
ハロウィン
フェスティバル



商品販売や緑日の手伝いに参加しました。

地域貢献活動③ 「道の駅」石鳥谷

商業研究同好会の生徒が週末に商品の陳列や販売を行いました。主体性や接客マナー等を実践できる貴重な体験になりました。

念願のオリジナル 自販機完成

3年C組 和野内奏詩

アサヒ飲料コラボでは、「地域共創・Community」地域・人に寄り添い、豊かな地域を共に創る」をコンセプトとして掲げ、地域貢献を行い、魅力ある花巻市を多くの方に知ってもらいたいと考え、昨年度からアサヒ飲料さんとの協同活動が始まりました。

アサヒ飲料東北支社の皆さんからのアプローチをきっかけに、講師として十数回授業をしていただきました。皆さんと協力し、話し合いを重ねた結果、オリジナルデザインをラッピングした自動販売機を作成することに決定しました。昨年度では、ラッピングのデザインは決まったものの完成までは届かず、今年度9月下旬に完成し、本校の部室棟前に設置する

ことができました。実際に完成した自動販売機を見て、自分たちで考えたものが目の前にあることが信じがたく驚きもありましたが、その驚きよりも嬉しさと達成感が大きかったです。

話し合いをする中で様々な意見があり、どの案にするのか、どれが一番現実的か、個々の意見を尊重しながらも、案をまとめていかなければならないのがとても大変でした。意見がぶつかった時もありましたが、リーダーとしての役割を果たすことができました。

最後に、私はこの活動を通して、改めて物事を実現させることの難しさや、客観視することの大切さを学びました。もしかしたら完成形が見れないかもしれないと思っていたので、自分の目で実際に見ることができ、ここまで皆さんと共に活動してきてよかったと思います。大手企業とコラボすることは、普段の生活では絶対にありえないことだと思いますが、この貴重な経験をこれから社会に出たときに活かしていきたいと考えています。

総合生活科

令和6年1月30日(火)に総合生活科で学んだ三年

間の集大成となる『保護者感謝会』が行われました。二十七名の保護者に参加いただき、各コースごとおよび全体会でこれまでの学びの成果を発表しました。本番に向けて準備や練習を重ね、クラス全員で感謝の気持ちを込めて、おもてなしと感謝のメッセージを伝えることができました。

保護者からのメッセージ

◆娘が青雲高校に入学してからあっという間の3年間

でした。入学時期はまだコロナの影響もあり、行事など参加することができなかった時もありました。その中で生徒たちにとっても私たち保護者にとっても、楽しみにしていた保護者感謝会に参加することができて本当に良かったと思いました。生徒たちの様々な発表で、オペレッタ・絵本の読み聞かせ・一級素話、一級ピア

保護者感謝会プログラム	
10:00-10:15	開会式
10:15-10:30	保護者からのメッセージ
10:30-10:45	生徒からのメッセージ
10:45-11:00	オペレッタ・絵本の読み聞かせ
11:00-11:15	一級素話・一級ピア
11:15-11:30	生徒からのメッセージ
11:30-11:45	保護者からのメッセージ
11:45-12:00	閉会式
12:00-12:15	昼食
12:15-12:30	保護者からのメッセージ
12:30-12:45	生徒からのメッセージ
12:45-13:00	閉会式



ノ弾き歌い・手話合唱、そして会食等がありました。一部からD組全員の微笑ましい姿が印象的で、一生懸命さが伝わり感動しました。指揮者やピアノ伴奏も、とても優しく癒やされるような気持ちになり良かったです。また、コース料理もたくさん丁寧な手の込んだものを作っていたいただき、とても美味しく盛り付けも綺麗でした。お抹茶振舞いなどもあり、きつと緊張もあったとは思いますがとても良かったです。

最後に生徒から保護者への感謝状を頂いたのですが、娘からのメッセージを読んで成長していることを確信し、嬉しい気持ちになりました。そしてそこには、サポートと支えてくださった先生方のお力添えがあったからこそ、とても感じており大変感謝しています。



三年D組の生徒のみならず、先生方、本当に有り難うございました。

◆花北青雲高校に入学してからあっという間に保護者感謝会という、親にしてみると楽しみでもあり、少しさみしいという気持ちになる日がきました。オペレッタ・絵本の読み聞かせ・素話・ピアノ弾き歌い・レクリエーションを見た後は、二十六人集大成おもてなしのすばらしいコース料理をいただきました。どの料理も美しく美しく表現され、感動して何枚も写真を撮りました。子どもたちのおもてなしの心が伝わり、きつと参加された保護者全員が同じ気持ちだったと思いま

す。プログラム第三部からは、親も子どもも、先生も？涙・涙の時となりました。懐かし動画から始まり、泣くのが我慢できなくなってしまう娘を見た私も一緒に思い出を振り返りながら涙しました。手話合唱も美しい声が会場に響き沢山練習したのだろうと思うと、様々なことに努力した子どもたちが自信に溢れ大きく見えました。いろいろな表現での感謝の気持ちは本当に素晴らしかったです。

この日まで、生徒を支えてくれた先生方、本当にありがとうございました。

保護者感謝会を終えて

3年D組 川村 心
両親に日頃から何となくは伝えてはいますが、面と向かってはなかなか恥ずかしくて言えなかったので、



自分の言葉でしっかりと感謝の気持ちを伝えることができ、幸せでした。

手作りの物をプレゼントすることは、保育園や小学生ぶりだったので、被服の技術や難しい折り紙に挑戦し、テーブルセッティングの小物や感謝の色紙を上手く作ることができたときには、授業での学びが生かされたと思いました。

3年D組 藤根穂乃花 保護者感謝会は、とても感動し楽しい一日でした。

当日までの準備は、本当に忙しく大変でしたが、努力したかいがあったなと心から思いました。改めて、両親に感謝の気持ちを伝えることもできたし、クラスのみんなとのあつという間だった三年間を振り返る良い機会となりました。短い時間ではありましたが、とても充実した保護者感謝会を作り上げることができ、達成感でいっぱいです。

三年間の総合生活科での学びを通して

3年D組 佐藤 鈴緒
一年生の時は授業で「花巻の特産」の活用といてもあまりよく分からず、地産地消を目指して多くの食材を用いてレシピを作るこ

とができませんでした。しかし、家庭総合やフードデザイン、栄養、課題研究・家庭クラブ研究班、食文化などの授業を通して多くの知識を身に付けることができ、食材の活かし方や特徴、組み合わせ方でもより良いものを考えられるようになりました。

総合生活科の三年間の学びを通じて家庭生活について考えることができ、より豊かに健康に生きていくために、食と地域を中心知識を蓄えることができました。これまで学んできたことをこれからの新生活に生かし、より豊かに過ごしていきたいと思えます。三年間の学びを通して得た多くの知識を用い、広い視野と視点から考えまとめることで、常により良いものを生み出していきたいと思えます。

3年D組 畠山 葵凜

私は三年間でたくさんのお話を学びました。その中でも一番は、「仲間がいること」の大切さです。実習などを通して、一人でできないことでも仲間がいればできるようになりました。一人の考えではなく、色々な人の考えを聞いて知ること、このような考えもあったのか」と発見して、



さらに学びを深めて成長することができました。一人できなくても、みんながいればつらいことも乗り越えていけると思いました。

この三年間総合生活科で学んだ全ては、私にとっての財産になると思います。

3年D組 河野 里穂

私たちは、総合生活科にしかできない経験を沢山することができました。その経験から、自分で考える力、想像力を豊かにすることが大切だということを感じました。そして、クラスのみんなで沢山のことを協力することで、一つひとつの活動を成功させることができました。三年間で学んだことは、今後生きていく中で必要なものであり、様々な場面で活かしていきたいと思えます。本当に貴重な経験をすることができた三年間でした。

PTA中部地区 母親交流会に参加して

母親委員副委員長 鎌田 千花

中部地区の母親委員交流会が11月23日に行われ、参加してきました。今年度は黒沢尻工業高校が交流会を担当し、金清堂菓子舗の店主の方を講師としてお迎えし、「和菓子」の作り方を教わってきました。「煉切（ねりきり）」の基本的な作り方を教えていただき、一人3種類ずつ仕上げました。職人の技の難しさを感じながら作業をし、参加した方々と、お互いの出来にアドバイスしたり、時にはあまりの出来なき加減に大笑いしたりと楽しく過ごしました。普段他の学校の方々と交流する機会がない中、こういう場で和菓子を作るという作業を通してコミュニケーションが図り得るものがあるということを感じました。

来年度は本校が運営を担当しますので、この経験を踏まえてすばらしい交流の場となるよう、楽しい企画を考えたいと思えます。



令和5年度 進路について



進路指導部
高橋 渉

二月一日現在、三年生の進路決定者数は、就職三十六名、公務員六名、進学八十名となっております。

本校の就職希望者は、例年四割から五割ですが、今年度は三割となり、就職者数が少なくなったことが特筆すべき点として挙げられます。

就職の内訳としては、管内が半分で、約九十五%が岩手県内となりました。製造業の割合が最も多く、事務職が続いております。

九月十六日からの就職試験において多くの生徒が内定をいただくことができましたが、残念ながら内定をもらえなかった生徒もおりました。その生徒らは、就きたい職種について考え直し、担任の先生と何度も話し合いながら、新たな求人票を探しました。その後、

企業見学を行い、試験に臨み、今年度も就職希望者全員が内定をいただくことができました。

今年度の管内求人数は昨年度よりも多くなり、生徒にとっては多くの選択肢から選ぶことができました。県内の求人数を見てみますと、昨年度と比較して、盛岡は十%、花巻は十九%増えています。しかし、その他の地域では大きく減っております。北上や水沢では十%以上も減少しています。

この傾向が今後も続くかは分かりませんが、厳しい試験を突破するためにも、学習面（成績・資格取得）や生活面（整容・あいさつ等）は、今後も指導していききたいと考えています。

公務員は、国家公務員、税務職員、岩手県職員、花巻市職員の内定をいただきました。これらの生徒は、

教養試験、適性試験、作文、面接などの準備をしっかりと行うことができます。また、らだと考えています。また、専門学校で開講している特別講座への参加によって、実力を向上させたことも内

定につながった要因として考えております。

令和五年三月の卒業生で、高校在籍中は公務員の内定をもらえなかった生徒がいました。昨年度担任をした私のクラスにも数名おりましたが、その生徒らは専門学校へ進学し、一年間実力を伸ばし、国家公務員や岩手県職員、市町村職員として四月から働くことが決まりました。今年度内定がもらえず、専門学校進学を決断した生徒には、先輩と同じように、諦めずに夢に向かって努力してほしいと思っております。

進学は、例年と比べ割合が高くなりました。特に四年制大学の人数が多くなりました。そして、新型コロナウイルス感染症に関する報道が少なくなったためか、県外への進学が多くなりました。

受験方法では、総合型選抜や学校推薦型選抜（指定校制・公募制）がほとんどとなっております。本校生徒にとって、四年制大学における、一般選抜合格は難しいという状況は変わりませ

ん。本校で学ばなければならぬ専門教科に加えて、受験科目の得点を高いレベルに引き上げる学習量の確保が難しいためです。そのため、大学や短大への進学のためには、総合型選抜や学校推薦型選抜で合格を目指す必要があります。これらの選抜方法では、志望理由書と高校在学中の頑張りが必要となります。一・二学年PTAにおいてお話ししましたが、進路希望決定が遅くなっている印象があります。志望理由や、進学後（大学・短大の卒業後も含む）のビジョンが明確になっていない状況で応募書類を提出することのないように指導していきたいと考えております。

この数年間の新型コロナウイルス感染症に伴い、進路に関する校内・校外での様々な行事が中止、または縮小されました。しかし今年度は、企業がイダダックス、花巻モノづくりEXPO参加、インターンシップ、企業・学校見学会などを実施し、進路について考える行事はコロナ前に戻ってきて

います。そのような中で私を感じるのには、学校側が準備したものをきつかけにして、校外で行われているイベントに積極的に参加する生徒が少ないということです。普段の授業や資格取得に向けた学習、そして部活動と本校生徒が忙しいことは理解しております。だからこそ、時間の使い方を見直し、時間を作って参加するその行動が将来につながるものと考えています。

来年度創立五十周年を迎える本校は、各方面で活躍されている卒業生が多くおります。その卒業生に続くことができるように、地域や社会の発展に貢献しようとする意欲を育むための進路指導、進路支援をしていきたいと考えております。



就職試験面接練習（9月）

令和5年度 民間就職・公務員・進学内定状況（令和6年2月1日現在）

就職(企業名・種別)	職種	※公務員の()の数値は合格者数、右側の数値が進路決定者数						※企業名・学校名 順不同						
		情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科		進学(学校名・学科名)						
		男	女	男	女	男	女	情報工学科	ビジネス情報科	総合生活科	男	女	男	女
管内 【建設業】 (株)小田島組 社寺工舎	総合職 大工見習	1						【国公立大学】 7 弘前大学 人文社会学部 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 福島大学 人文社会学部 信州大学 経法学部						
県内 (有)大和ホーム 日成(株)	大工 電気工事士見習	1						【私立大学】 26 八戸工業大学 工学部 岩手医科大学 看護学部 岩手医科大学 薬学部 盛岡大学 栄養科学部 盛岡大学 文学部 石巻専修大学 理工学部 東北工業大学 工学部 東北工業大学 ライフデザイン学部 東北学院大学 経営学部 東北学院大学 工学部 東北芸術工科大学 デザイン工学部 東日本国際大学 健康福祉学部 埼玉工業大学 工学部 日本工業大学 先進理工学部 淑徳大学 看護栄養学部 大妻女子大学 社会情報学部 東京経済大学 経営学部 二松学舎大学 国際政治経済学部 立正大学 データサイエンス学部 城西国際大学 国際人文学部 神戸親和大学 教育学部						
小 計	4	4	0	0	0	0	0	1						
管内 【卸売業・小売業】 (株)メディセオ (株)LEP INTERNATIONAL (株)PALTAC東北支社	商品管理 デスク業務 物流職	1			1			【国公立短期大学】 2 岩手県立大学盛岡短期大学部 生活科学科 大月短期大学 経済科						
県内 イオン東北(株) ホンダカーズ岩手南(株) (株)デンコードー (株)R1000	総合職 営業事務 総合職 衣服販売員	1			1			【私立短期大学】 4 盛岡大学短期大学部 幼児教育科 仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科 仙台赤門短期大学 看護学科						
県外 水戸工業(株)	事務				1			【大学校等】 5 岩手県立産業技術短期大学校 建築科 岩手県立産業技術短期大学校 生産技術科 岩手県立産業技術短期大学校 電子技術科 岩手県立産業技術短期大学校 メカトロニクス技術科						
小 計	8	2	0	0	2	0	4	2						
管内 【生活関連サービス業】 hair space AI	美容師アシスタント				1		1	【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
小 計	2	0	0	0	1	0	1	1						
管内 【宿泊業・飲食サービス業】 花巻温泉(株) 花巻温泉(株)	ホスピタリティコック ゼスラーサービスアシスタント	1			1			【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
県内 (株)東横イン北上駅新幹線口	フロント						1	【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
県外 (株)西武・プリンスホテルズワールドワイド	宿泊部門						1	【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
小 計	4	1	0	0	2	0	1	1						
管内 【製造業】 イーエヌ大塚製菓(株) イーエヌ大塚製菓(株) 東北資材工業(株) 日東工業(株) 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株)	医薬品製造 経理 製品仕上 製造技能 製造技能				1	1		【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
県内 (株)サンデリカ (株)平山 (株)ワイ・デー・ケー サタケ東北(株) キオクシア岩手(株) キオクシア岩手(株) TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株) TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)	生産 惣業商品製造 製造装置組立 技術総合職 技術職 技能職 生産技術 製造オペレータ				1	1		【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
小 計	17	5	0	8	3	0	1	1						
管内 【情報通信業】 (株)リードコナン	一般事務				1			【専門学校】 36 岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科 岩手理容美容専門学校 美容科 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 税理士コース 大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 1年制公務員コース 北上コンピュータ・アカデミー コンピュータビジネス科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科 北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 東北ヘアモード学院 美容科 花巻高等看護専門学校 看護学科 盛岡情報ITクリエイター専門学校 ゲーム制作2年制コース 盛岡情報ITクリエイター専門学校 システム開発コース MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科 MCL盛岡看護医療大学校 柔道整復科 MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校 総合ビジネス科 MCL盛岡公務員法律専門学校 行政事務コース MCL盛岡公務員法律専門学校 警察・消防コース MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報ビジネス科 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 花壇自動車大学校 自動車科2年コース 仙台医療秘書福祉専門学校 医療保育科 仙台スクールオブミュージックアンドダンス専門学校 パフォーミングアーツ科 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツビジネス学科 東北電子専門学校 音響制作学科 専門学校東京ビジネス・アカデミー ファッションビジネス学科 中央情報大学校 ネット動画クリエイター学科						
小 計	1	0	0	1	0	0	0	1						
企業就職内定者計	36	12	0	9	8	0	7	1	1					
公務員	職種	情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科								
		男	女	男	女	男	女							
管内 【公務員】 国家公務員 東北 税務職員 東北 岩手県職員 岩手県職員 花巻市職員	一般職 一般事務 電気 一般事務			(1)	(2)	(1)	(1)	(1)						
公務員合格者の数()	6	1	0	2	3	0	0							
公務員内定者計	6	1	0	2	3	0	0							
就職内定者総計	42	13		22		7								
								進学(学校名・学科名)						
								【国公立大学】	7					
								【私立大学】	26					
								【国公立短期大学】	2					
								【私立短期大学】	4					
								【大学校等】	5					
								【専門学校】	36					
								小 計	80		21		40	
								【進学予備校・留学準備等】						
								小 計	0		0		0	
								進路決定者総計	122		34		62	

令和5年度 部活動等成績



硬式野球部

- ◆第70回春季東北地区高等学校野球選手権大会
1回戦 花巻地区予選
2位 花巻南●3-16
敗者復活戦1回戦 対遠野○7-14
敗者復活戦2回戦 対花巻○7-10 (7回コールド)
敗者復活代表決定戦 対花巻北●0-10 (10回コールド)
- ◆第105回全国高校野球選手権記念岩手大会
対盛岡商業●8-10
- ◆第76回秋季東北地区高等学校岩手県大会
会花巻地区予選
対花巻南●4-5
敗者復活戦1回戦 対花巻農業○11-1 (5回コールド)
敗者復活戦2回戦 対遠野●4-5

ソフトボール部

- ◆第55回岩手県高等学校選抜ソフトボール大会
2位 トーナメント進出
- ◆令和5年度高校女子ふれあいソフトボール大会 15位
- ◆第75回岩手県高等学校総合体育大会ソフトボール競技
対千厩●0-7 (5C)
- ◆第16回岩手県高校女子ソフトボール大会
対盛岡農業○10対3 (5C)
- ◆対宮古商工・宮古・大東・関一●4-9
- ◆第70回岩手県高等学校新人ソフトボール大会
対盛岡第四○12-11
対遠野・宮古商工・宮古○3-1
対花巻東●0-8 (5C)
- ◆第29回岩手県高等学校新人選抜ソフトボール大会
2位 トーナメント進出
- ◆第15回東北・北海道公立高等学校女子ソフトボール大会出場

卓球部

- ◆【男子】
第75回岩手県高等学校総合体育大会
男子団体 準優勝 (東北大会出場)
男子個人戦

- シングルス 鎌田涼雅
ベスト16 (東北大会出場)
ダブルス 木村・伊藤 ペア
ベスト8
- ◆第77回東北高等学校卓球選手権大会
男子団体
1回戦 対秋田商業●0-3
男子シングルス
1回戦 鎌田涼雅○3-2 太田大夢
2回戦 鎌田涼雅●0-3 長谷部聡明 [帝京安積]
- ◆第69回岩手県高等学校新人大会卓球競技
男子個人戦 準優勝
男子団体
シングルス
伊藤 第7位
鎌田涼雅 第8位
木村 第16位
ダブルス 伊藤 第3位

【女子】

- ◆第75回岩手県高等学校総合体育大会
女子団体 ベスト8
女子個人戦
シングルス
和野内奏詩 ベスト8 (東北大会出場)
高橋美晴 ベスト16 (東北大会出場)
八重樫 第16位
- ◆第77回東北高等学校卓球選手権大会
女子シングルス
1回戦 高橋美晴●0-3 兼谷彩音 [郡山女大付]
1回戦 和野内奏詩●1-3 情野笑歩 [山形学院]
- ◆第69回岩手県高等学校新人大会卓球競技
女子団体 対一関一高●0-3 一回戦敗退
女子個人戦
シングルス 高野桃伽
●3-0 古山 (久慈東)
●0-3 吉田 (盛岡二) 2回戦敗退
ダブルス 幅野・高野 ペア
●3-2 川目・杉澤 (盛岡市立)
●0-3 渡辺・及川 (水沢) 2回戦敗退

バレーボール部

- ◆【男子】
第75回岩手県高等学校総合体育大会
2回戦 対盛岡第一○2-0
3回戦 対専修大北上●0-12
ベスト16
- ◆第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会
1回戦 対宮古●0-2

- ◆第71回岩手県高等学校新人大会
1回戦 対黒沢尻工業●0-12
- ◆【女子】
第75回岩手県高等学校総合体育大会
2回戦 対北上翔南・金ヶ崎○2-0
3回戦 対不来方●1-2
ベスト16
- ◆第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会
手権大会岩手県予選会
1回戦 対久慈東○2-0
2回戦 対高田●0-2
ベスト16

柔道部

- ◆第75回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対大船渡・盛岡・市立●0-3
1部女子団体
1回戦 対盛岡商●0-2
個人戦
男子60kg級 1回戦 不戦勝 佐藤響紀
2回戦 敗退
- 66kg級 1回戦 敗退 晴山周治
女子48kg級 1回戦 敗退 大龍陽愛
63kg級 1回戦 敗退 押切愛佳
- ◆第56回岩手県高等学校1・2年体重別選手権大会
1年男子個人試合 90kg級
1回戦 敗退 阿部隼清
女子個人試合 48kg級
1回戦 不戦勝 大龍陽愛
2回戦 敗退
- ◆第68回岩手県高等学校新人柔道大会
男子団体試合3人制
1回戦 対江南義塾○3-0 合同 (大迫・学院・青雲)
準決勝 対黒沢尻北○2-1
決勝 対宮古●0-3 準優勝
女子団体試合
1回戦 対久慈東 棄権
個人戦
男子90kg級 1回戦 敗退 阿部隼清
女子48kg級 1回戦 不戦勝 大龍陽愛
2回戦 敗退 多田愛菖
無段の部 1回戦 棄権

バドミントン部

- ◆高総体地区予選
男子ダブルス
1位 菅野夏央・人首稜太
2位 菅原慎人・鈴木真白

- 3位 菊地直仁・菊地咲久
4位 新田琉偉・狩野誠太
5位 久保田琉生・及川大和
推薦 平賀翔太・小山田泰地
男子シングルス
1位 菅野夏央
2位 鈴木真白
3位 菅原慎人
4位 狩野誠太
推薦 平賀翔太 小山田泰地

高総体

- ◆男子学校対抗 準優勝 (東北大会出場)
男子ダブルス
2位 平賀翔太・小山田泰地 (東北大会・インハイ出場)
男子シングルス
3位 小山田泰地
ベスト8 平賀翔太
- ◆第52回東北高等学校バドミントン選手権大会
男子学校対抗
1回戦 対秋田○3-0
2回戦 対青森山田●0-3
男子ダブルス 平賀翔太・小山田泰地
1回戦 対聖ウルスラ学院英智●0-12
男子シングルス 小山田泰地
1回戦 対秋田工業○2-0
2回戦 対聖ウルスラ学院英智●0-2
- ◆第68回岩手県卓球目別バドミントン選手権大会
少年の部男子ダブルス
3位 平賀翔太・小山田泰地
ベスト8 菅野夏央・人首稜太
ベスト16 菅原慎人・鈴木真白
ベスト16 新田琉偉
少年の部男子シングルス
2位 平賀翔太
ベスト8 小山田泰地
ベスト16 菅原慎人 鈴木真白
◆第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニアの部岩手県代表選考会
男子ダブルス
3位 新田琉偉・狩野誠太
ベスト8 菅原慎人・鈴木真白
男子シングルス
ベスト16 狩野誠太
- ◆令和5年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会
男子ダブルス 平賀翔太・小山田泰地
1回戦 対南風原高校 (沖縄)○2-0
2回戦 対高岡第一 (富山)●1-2
◆令和5年度岩手県高等学校新人バドミントン大会花巻地区予選会
学校対抗 1位
男子ダブルス

- 1位 菅原慎人・鈴木真白
2位 佐々木歩希・照井晴空
3位 藤原望夢・高橋春杜
4位 小山大翔・上川統志
ベスト8 菅原歩大・高橋好誠 小松礼人・吉田勇互
2回戦 高橋翔幸・藤原優月
4位まで県大会出場
新田琉偉・狩野誠太
男子シングルス
1位 菅原慎人
2位 狩野誠太
3位 鈴木真白
4位 照井晴空
ベスト8 小山大翔 佐々木歩希 上川統志 新田琉偉
礼人 吉田勇互 藤原望夢 高橋春杜 藤原優月

高総体地区予選

- ◆男子学校対抗 6年ぶり4回目
学校対抗1位
男子ダブルス
3位 菅原慎人・鈴木真白
4位 新田琉偉・狩野誠太
3回戦 藤原望夢・高橋春杜 佐々木歩希・照井晴空 小山大翔・上川統志
男子シングルス
2位 菅原慎人
ベスト8 狩野誠太
3回戦 鈴木真白 照井晴空
◆第68回岩手県総合バドミントン選手権大会
男子ダブルス
3回戦 平賀翔太・小山田泰地 菅原慎人・鈴木真白
2回戦 狩野誠太・新田琉偉
男子シングルス
3位 平賀翔太
3回戦 菅原慎人 狩野誠太
2回戦 新田琉偉
1回戦 鈴木真白

高総体地区予選

- ◆女子ダブルス
1位 菅原 麥倉花
2位 久保田つぐみ 川村心
3位 菅原明 熊谷楓
5位 日向端優葉 照井仁奈
推薦 佐藤鈴緒 森柑奈
推薦 村松愛花 黒田紗希
女子シングルス
1位 村松愛花

2位 熊谷楓
3位 黒田紗希
4位 菅原光
5位 久保田つぐみ
7位 日向端優葉
推薦 佐藤鈴緒
高総体
女子学校対抗 優勝2年ぶり12回目
女子ダブルス
1位 佐藤鈴緒・森柑奈 インターハ
イ 東北大会出場
ベスト8 村松愛花 黒田紗希 菅原
萌 熊谷楓
3回戦 菅原光 麦倉花 久保田つぐ
み 川村心
2回戦 日向端優葉 照井仁奈
女子シングルス
1位 佐藤鈴緒
ベスト8 村松愛花 黒田紗希 菅原
光
3回戦 熊谷楓 久保田つぐみ 麦倉
花 日向端優葉
◆第52回東北高等学校バドミントン選手
権大会
女子学校対抗
1回戦 対秋田北●2-1
女子ダブルス 森柑奈・佐藤鈴緒
2回戦 対青森山田●0-2
女子シングルス 佐藤鈴緒
2回戦 対秋田北●2-1
準々決勝 対ふたば未来学園●1-2
◆第68回岩手県種目別バドミントン選手
権大会
少年の部女子ダブルス
優勝 佐藤鈴緒・森柑奈
4位 菅原萌・熊谷楓
ベスト8 菅原光・麦倉花
ベスト8 村松愛花・黒田紗希
ベスト16 高橋涼華・田中奈々
少年の部女子シングルス
優勝 佐藤鈴緒
ベスト8 村松愛花 菅原光 麦倉花
ベスト16 熊谷楓 黒田紗希
◆第42回全日本ジュニアバドミントン選手
権大会ジュニアの部岩手県代表選考会
女子ダブルス
3位 村松愛花 黒田紗希
ベスト8 菅原光・麦倉花 熊谷楓・
日向端優葉 藤村芽衣・照井仁奈
9位 高橋涼華・田中奈々
女子シングルス
3位 菅原光
ベスト8 村松愛花 黒田紗希 麦倉
花

ベスト16 日向端優葉 熊谷楓
◆令和5年度全国高等学校総合体育大会
バドミントン競技大会
女子学校対抗
1回戦 対共愛学園(群馬)○3-1
2回戦 対開志国際(新潟)●0-3
女子ダブルス
佐藤鈴緒・森柑奈
1回戦 対京都成章(京都)●1-2
女子シングルス 佐藤鈴緒
1回戦 対茗溪学園(次城)○2-1
2回戦 対安田学園(広島)●1-2
◆令和5年度岩手県高等学校新人ドミ
ントン大会花巻地区予選会
学校対抗 1位
女子ダブルス
1位 熊谷楓・日向端優葉
2位 高橋涼華・田中奈々
4位 藤村芽衣・照井仁奈
2回戦 小原虹愛・高橋美羽
4位まで県大会出場
県大会推薦出場
村松愛花・黒田紗希 菅原光・麦倉花
女子シングルス
1位 熊谷楓
2位 日向端優葉
4位 小原虹愛
ベスト8 藤村芽衣 高橋涼華 田中
奈々 照井仁奈
2回戦 高橋美羽
4位まで県大会出場
県大会推薦出場
村松愛花 黒田紗希 菅原光 麦倉花
◆特別国民体育大会バドミントン競技
少年女子1回戦
岩手県●0-2 岐阜県
ダブルス 佐藤鈴緒・森柑奈●0-2
岐阜
第1シングルス 長山(盛岡白百合学
園)●0-2 岐阜
◆第63回岩手県高等学校新人バドミ
ントン大会
学校対抗 優勝 2年連続16回目
女子ダブルス
2位 村松愛花・黒田紗希
ベスト8 熊谷楓・日向端優葉 菅原
光・麦倉花
3回戦 高橋涼華・田中奈々
2回戦 藤村芽衣・照井仁奈
女子シングルス
2位 麦倉花
4位 村松愛花
ベスト8 菅原光 黒田紗希
3回戦 熊谷楓 日向端優葉
2回戦 小原虹愛

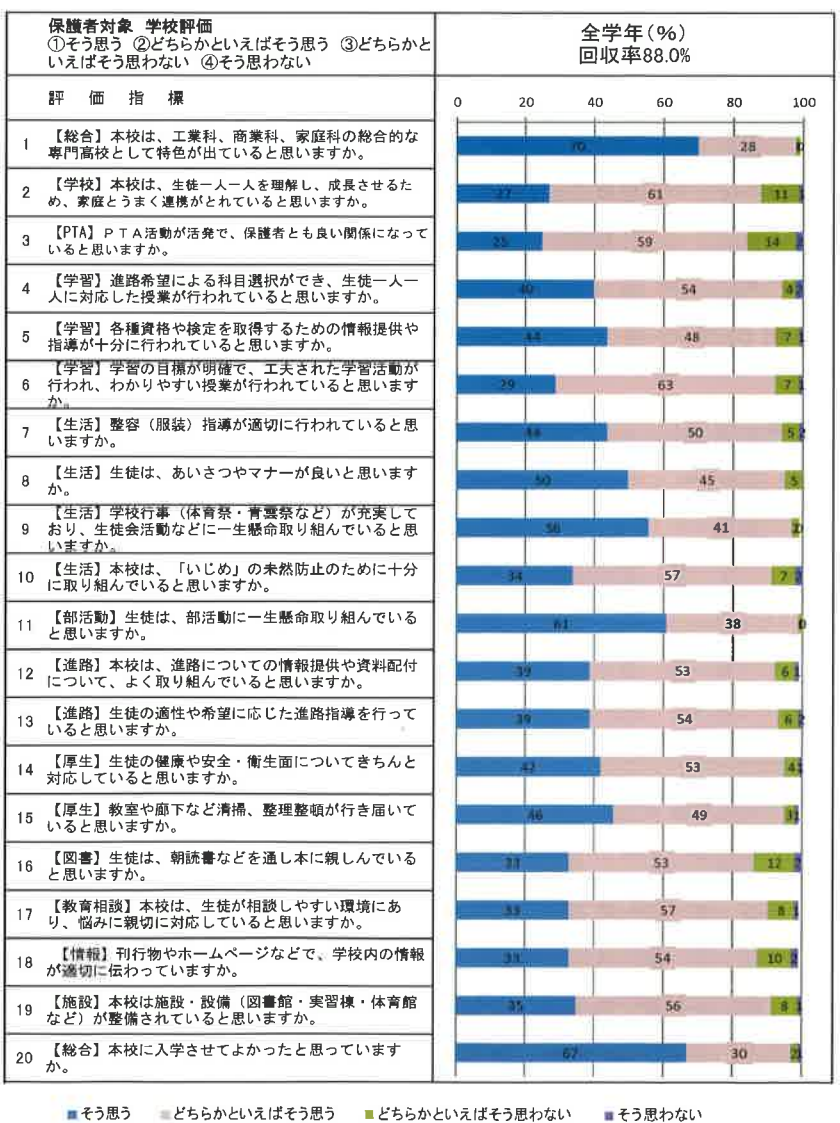
◆第68回岩手県総合バドミントン選手権
大会
女子ダブルス
3位 佐藤鈴緒 森柑奈
ベスト8 久保田つぐみ(パートナ
ーは一般選手)
2回戦 菅原萌 熊谷楓 村松愛花
黒田紗希 菅原光 麦倉花
女子シングルス
1位 佐藤鈴緒
ベスト8 菅原光 麦倉花
3回戦 熊谷楓 久保田つぐみ
1回戦 村松愛花 黒田紗希
◆第75回岩手県民体育大会陸上競技大会
1・2部女子やり投げ
及川花香 6位 27m08
◆2023北上フィールド競技大会
女子やり投げ 及川花香 5位 29m21
◆第74回岩手県高等学校新人陸上競技大
会
女子やり投げ 及川花香 9m43 6位
◆2023岩手県秋季陸上競技大会
岩手県運動公園陸上競技場
女子やり投げ 及川花香 29m22 6位
◆ソフトテニス部
【男子】
◆岩手県高等学校総合学校総合体育大会
ソフトテニス競技花巻地区予選
個人戦
山影・幅野 9位 県大会出場
越田・佐々木 11位 県大会出場
団体戦
青雲A●0-3 花巻農業
青雲B●1-2 花巻南C
青雲C●1-2 花巻東B
◆新入大会ソフトテニス競技花巻地区予選
個人戦
山影・幅野 1位 県大会出場
越田・佐々木 2位 県大会出場
団体戦
対花巻農業○2-1
対遠野●1-2
対花巻東○3-0
結果2位
◆第68回岩手県高等学校新人大会ソフト
テニス競技
個人戦
山影・幅野
2回戦 対高橋・高橋(黒沢尻工業)
越田・佐々木
2回戦 対千葉・菅原(一関学院)●

1-4 ※2回戦敗退
団体戦
2回戦 対花巻東○3-0
3回戦 対一関学院●0-2
結果 ベスト16
【女子】
◆岩手県高等学校総合体育大会ソフトテ
ニス競技花巻地区予選
個人戦
1位 松葉・工藤 県大会出場○4-3
2位 山影・山影 県大会出場
藤井・三浦 1回戦敗退
藤澤・菅原 1回戦敗退
近谷・伊藤 1回戦敗退
西銘・菊池 1回戦敗退
◆第8回大勝杯高等学校男女個人ソフト
テニス大会
松葉・工藤 予選リーグ○2-0 決
勝トーナメントへ
山影・山影 予選リーグ○2-0 決
勝トーナメントへ
決勝トーナメント
2回戦 松葉・工藤○3-1 宮古商工
山影・山影○3-1 岩手女子
3回戦 松葉・工藤○4-0 花巻北
山影・山影●2-1 盛岡市立
ベスト16
4回戦 松葉・工藤●0-4 盛岡三
ベスト8
◆第75回岩手県高等学校総合体育大会
ソフトテニス競技
個人戦
2回戦 山影・山影●0-4 大船渡
松葉・工藤●3-1 一関学院
団体戦
1回戦 対一関二高●0-3
◆新入大会ソフトテニス競技花巻地区予選
個人戦
1位 松葉・近谷○4-2 花巻南
県大会出場
5位 照井・三浦 県大会出場
菊池・伊藤 代表9位決定戦敗退
3-4
菅原・高野橋 予選敗退
多田・菊池 予選敗退
団体戦
対花巻北●1-2
対花巻南○2-1
対遠野○3-0
得失差により2位
◆第68回岩手県高等学校新人大会ソフト
テニス競技
個人戦
1回戦 照井・三浦●3-4 盛岡三
2回戦 松葉・近谷○4-2 大船渡

3回戦 松葉・近谷●0-4 一関学
院 ベスト32 選抜インドアソフトテ
ニス大会出場権獲得
団体戦
2回戦 対一関二●1-2
◆花巻地区高等学校新人ソフトテニス大会
第1位 松葉・近谷○4-1 湯口中
第3位 照井・三浦●3-4 湯口中
◆第21回花巻地区高校生インドアソフト
テニス大会
1回戦 松葉・近谷○4-1 黒沢尻
北
2回戦 松葉・近谷●1-4 盛岡三
ベスト16
サッカー部
【男子】
◆第75回岩手県高等学校総合体育大会
2回戦 青雲・遠野緑峰○6-0 岩
谷堂・金ヶ崎・水沢農業
3回戦 青雲・遠野緑峰●0-7 専
大北上 ベスト16
◆高円宮杯JFA U-18サッカーリー
グ2023 LEAGUE DIVISION B
第1節 青雲・遠野緑峰○2-1 一
関工業
第3節 青雲・遠野緑峰●0-1 一
関一
第4節 青雲・遠野緑峰○3-0 大
船渡合同
第5節 青雲・遠野緑峰○1-0 黒
沢尻北
第6節 青雲・遠野緑峰○4-1 宮
古商工
第7節 青雲・遠野緑峰○4-1 水
沢工業
第8節 青雲・遠野緑峰 0-0 一
関一
第10節 青雲・遠野緑峰●2-3 宮
古商工
第11節 青雲・遠野緑峰○2-1 大
船渡合同
第12節 青雲・遠野緑峰●1-4 一
関工業
第13節 青雲・遠野緑峰○6-0 水
沢工業
第14節 青雲・遠野緑峰●0-1 黒
沢尻北
◆第102回全国高等学校サッカー選手権岩
手県大会
2回戦 青雲・遠野緑峰●0-10 盛
岡誠校
◆第75回岩手県高等学校総合体育大会サッ

- カ1競技 準決勝 対専大北上 ●0-19 第3シード決定戦 対水沢 ●0-4 ベスト4
- 第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 予選トーナメント 対不来方 ●0-9 対水沢 0-0 ベスト4
- 第58回若手県高等学校新人サッカー大会 1回戦 対専大北上 ●20-27 3位決定戦 対水沢 ●0-1 ベスト
- 吹奏楽部**
 - 令和5年度第61回若手県吹奏楽コンクール中央地区大会
 - 小編成の部 銅賞
 - 令和5年度若手県アンサンブルコンテスト花巻地区大会 金管六重奏 銅賞 打楽器五重奏 銀賞
- 珠算部**
 - 令和5年度若手県高等学校ビジネス計算競技大会
 - 団体競技 第2位
 - 個人総合の部 第4位 和野内奏詩 第5位 工藤晴 (全国大会出場)
- 電卓競技**
 - 団体の部 第4位
 - 令和5年度若手県高等学校新人ビジネス計算競技大会
 - 団体の部 第1位 (東北大会出場) 個人総合の部 第1位 田中心結 第2位 松島佳那 第3位 大澤歩佳 電卓の部 団体の部 第3位
- 文芸部**
 - 【文芸部門】
 - 令和5年度若手県高校生文芸コンクール(部門別)
 - (詩) 優良賞 中村亜梨柗 (戯曲) 優秀賞 藤根彩乃 (俳句) 入選 藤島七香
 - 【かるた部門】
 - 第30回若手県高校かるた選手権大会 団体戦 第2位 齋藤光希 個人戦 第4位 中村亜梨柗 第7位

- 第8位 川村真鈴
- 第16回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権 岩手県代表 齋藤光希 中村亜梨柗 川村真鈴
- 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会小倉百人一首かるた部門 岩手県代表 齋藤光希 中村亜梨柗 川村真鈴
- 第30回若手県高校かるた大会 個人戦 第6位 濱田杏恩 第7位 小川口夢香 第8位 藤島七香
- 第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会 個人戦 濱田杏恩 1回戦 小川口夢香 2回戦 鈴木望々 3回戦 鈴木望々 第3位 小川口夢香 第7位
- 第29回若手県高等学校からた新春大会 個人戦 鈴木望々 第3位 小川口夢香 第7位
- O A部**
 - 令和5年度若手県高等学校ワープロ競技大会
 - 団体 第1位 (初優勝) 全国大会出場 個人 第1位 松本涼花 (3B) 第3位 藤瀬日陽莉 (3B) 第4位 平澤寧々花 (3D) 第6位 岡崎愛月 (3D)
 - 令和5年度第77回全国高等学校ワープロ競技大会 (235名参加)
 - 個人 第27位 (47チーム参加) 第92位 松本涼花 (3B) 第126位 藤瀬日陽莉 (3B) 第134位 平澤寧々花 (3D)
- 令和5年度若手県高等学校新人ワープロ競技大会
- 団体 第2位 (東北大会出場) 個人 第4位 阿部龍明 (2C)
- 令和5年度第61回東北六県高等学校ワープロ競技大会 団体 第16位 (26チーム参加)
- 工学研究同好会**
 - 令和5年度高等学校ロボット競技大会 岩手県選考会 第4位
 - 高校生ものづくりコンテスト2023 岩手県大会 第3位 小野寺凜 JMCRC2024東北大会 Advanced JMCRC2024東北大会 Basic Class
 - 第1位 菅原隼人 第4位 木村伊吹 JMCRC2024東北大会 Basic Class



学校評価に係る保護者アンケート集計

- 第3位 中村耀 第4位 小野寺凜
- 第5位 菊池陽生
- JMCRC2024全国大会 Advanced Class 出場 菅原隼人 Basic Class 出場 中村耀
- P F S C 同好会**
 - 第28回いわてユネスコ賞 いわてユネスコ活動奨励賞
 - 公益財団法人「小さな親切」運動本部 「小さな親切」実行章
- 家庭クラブ**
 - 第71回東北ブロック高等学校家庭クラブ
- 書道選択者**
 - 第46回若手県高等学校総合文化祭書道部門第2種漢字・仮名 秀作賞 藤原仁 佐々木心寧 入選 大竹瑠里
 - 第46回若手県高等学校総合文化祭書道部門第2種漢字・仮名交じり 入選 佐藤龍翔
- ブ連盟研究発表大会**
 - ホームプロジェクトの部 昆野優花・齋藤佑衣
 - 第73回若手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会 優秀賞 松田悠花 藤原陽芽実 ホームプロジェクトの部 最優秀賞 昆野優花 齋藤佑衣

学年長より



「あと2年」
1学年長
大森 悦子
第1学年P

T Aを11月15日(水)多目的教室を会場に開催いたしました。お忙しい中、77名の保護者にご参加いただきました。ありがとうございます。ご欠席の保護者の皆様には、生徒を通じて資料をお渡しいたしました。ご覧になっていただけただろうか。「1学年役員及びP T A活動・行事」「1学年の現状」「コース選択・科目選択」「進路状況」については、資料のとおりです。資料にはないお話を一つ。教室のゴミが少ないことに感心しているという話をしてお話ししました。主なゴミは飲食によるものです。それが少ないということは、朝ご飯をしっかりと食べ、昼食にお弁当をいただいているということだろうと。当たり前前になさっていることとは思いますが、毎日毎日三食を整えて、生徒の心と体を作ってください。ことに感謝申し上げます。さて、12月現在、コース選択・科目選択の調査を経て、各クラスで二者面談を行い、希望の進路に対して

選択希望が適切かどうかの確認をしております。たくさんある可能性の中から、一つの選択をすることには大きな不安があります。多くの選択肢から一つを残し、残りを全て捨ててしまうことには勇気もいることと思えます。地理的な条件、経済的な条件と希望が、なかなか折り合わないこともあるかもしれません。選択を確定し、進級した後も、何かと疑問に思うこと、不安なこと、不満に感じること等が出てくることと思われまます。どうぞ、ご遠慮なく、お電話ください。ご来校くださり、お話しください。生徒一人一人が希望の進路を手にし、明るい気持ちで卒業するために、力を合わせて参りましょう。ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



2学年P T A報告
2学年長
大森 忠彦
第2学年P
T Aを11月8

日(水)多目的教室を会場に開催しましたので報告させていただきます。お忙しい中、99名(参加率69・7%)の保護者にご参加いただきました。有難うございました。全体会に先立ち、「進路

説明会」を実施し、続いて「全体会、現状報告」「修学旅行について」そして「学級懇談」という内容で進行了しました。「進路説明会」では高橋渉進路部長より現在の進路状況について最新の情報を提供していただきました。

「全体会、現状報告」では学年委員長であります宮野隆一様にご挨拶を頂戴し、その後学校長からの挨拶、学年役員、P T A活動行事等の報告後、学年成績概況全体概況についての報告、科目選択についての説明がありました。昨年同様全体的に大きな乱れはなく、生徒は落ち着いた学校生活を送っていること、インターンシップや青雲祭での積極的な取り組み等を報告させていただきました。家庭学習の取り組みや、課題の提出などのお話と進路目標の決定にあたり、本人任せにはせず家族でしっかりと話し合いをしていたり、だきようお願いをさせていたいただきました。

修学旅行は生徒全員が参加することはできませんでしたが、多くの生徒が参加することができました。これもひとえに保護者様のご理解、ご協力のおかげと感謝しております。

高校生活の中で大きなイベントの一つである修学旅行が終わりました。来年はいよいよ最高学年となり進路に向けて勝負の年となります。すでに多くの生徒が上級資格取得や基礎学力の向上、進路研究など自身の夢に向かって歩みだしています。我々第2学年団もこの歩みを加速させるべく、進路ガイダンス、講演会等を実施し、進路目標実現のため最大限のサポートをして参ります。保護者の皆様には今後ともより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。学年P T Aの報告とさせていただきます。



卒業生の保護者の皆様へ
3学年長
葛西 崇
3学年の保護者の皆様、

お子様の卒業おめでとうございます。また、これまでの本校の教育活動に対するご協力に感謝申し上げます。多くの保護者の皆様からのご支援をいただくことで充

実した教育活動を行うことができました。

さて、私が高校を卒業した時(歳がバレますが)、昭和63年はバブル景気で夢と希望に満ち溢れていました。大学1年生の1月に昭和天皇が崩御され、平成という新しい時代を迎えました。現在は平成から令和という新たな時代を生きていますが、この時代もコロナ感染に始まり、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるハマスへの報復とそれに伴う原油高、円安、地球沸騰化など多くの問題を抱えています。子どもたちの環境はますます厳しいものになることが予想されます。人生はいいときばかりではありません。時には挫折そうになることもあるかもしれません。そんな時、平成を生きた抜いた保護者の方の経験に基づくアドバイスが子どもたちの力になるはず。また、思い悩んだときは青雲高校に来て高校時代の生活を思い出してほしいと思います。勉強や部活動に必死に取り組んできた記憶が子どもたちの生きる活力になるはず。厳しい時代を逞しく生き抜いてくれると確信しています。子どもたちの教育に3年間ご協力いただき本当にありがとうございました。

令和5年度PTA役員
ありがとうございました

PTA役員(敬称略)

会長

市川 清志

副会長

及川 真喜

菅原 智子

高橋 正幸

平賀 弘典

平賀 勇樹

藤本 真帆

宮野 隆一

小松 了(校長)

監事

鎌田 千花

高橋 庄一

長谷川万智子

理事

◎3学年

委員長

平賀 勇樹(母親)

副委員長

菅原 智子(母親)

理事

市川 清志(広報)

葛巻 欣子(校外生活指導)

河野 義良(校外生活指導)

阿部 敬子(学習)

南 一行(学習)

久保田佐和子(環境整備)

森 静香(環境整備)

長谷川万智子(母親)

信太 正光(母親)

◎2学年

委員長

宮野 隆一(学習)

副委員長

及川 真喜(母親)

藤本 真帆(環境整備)

理事

阿部ゆかり(広報)

高橋和佳子(広報)

福山 剛(校外生活指導)

幅野 恵子(校外生活指導)

袖林 恵美(学習)

橋 夏美(環境整備)

鎌田 千花(母親)

黒田由美子(母親)

昆野美紀子(母親)

◎1学年

委員長

平賀 弘典(学習)

副委員長

高橋 正幸(母親)

吉田 貴浩(環境整備)

理事

川村千恵子(広報)

高橋 美和(広報)

高橋 庄一(校外生活指導)

川村 美晴(校外生活指導)

奥村加奈子(学習)

照井 千春(環境整備)

北田 道子(母親)

七木田吉明(母親)

前田知香子(母親)

PTA事務局日誌

令和5年

- 4月8日(土) 入学式・PTA入会式
- 4月20日(木) 第1回役員会・理事会
- 5月12日(金) 中部地区PTA連絡協議会
- 5月22日(月) PTA総会・3学年PTA
- 5月24日(水) PTA専門委員会
- 6月7日(水) 県高P連定期総会並びに研究協議会
- 7月6日(木)~7(金)
第72回東北地区高等学校PTA連合会
福島大会
- 7月24日(月) 環境整備委員会石鳥谷駅周辺清掃
- 9月27日(水) 県高等学校PTA連合会母親会員交流会
- 9月28日(木) 第3回役員会
- 10月12日(木) 登校時一声マナーアップ運動
会計中間監査
- 10月20日(金) 県高等学校PTA連合会会長研修会
- 20日(金) 青雲祭
- 21日(土) 青雲祭PTA展
- 11月10日(金) 県高等学校PTA連合会事務局長研修会

令和6年

- 2月14日(水) 花巻青少年育成会議 朝の挨拶運動
(石鳥谷駅前)
- 2月19日(月) 第4回役員会
- 3月1日(金) 卒業式・PTA会報発行
- 4月中旬 会計監査(予定)

1年間ありがとうございました

◆令和5年度PTA広報委員会◆

委員長 市川 清志
副委員長 阿部ゆかり
高橋和佳子
川村千恵子
高橋 美和

今年度もPTA会員の皆様のご協力でなんとかPTA会報第107号を発行する運びとなりました。この場をお借りして感謝申し上げます。本広報以外にも、学校の様子は「学校ホームページ」で更新されておりますので、どうぞご覧ください。今後もより良い会報にしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様からの御意見・ご要望を広報委員会までお寄せください。

TEL 0198-45-3731

FAX 0198-45-3746

〒028-3172

花巻市石鳥谷北寺林11-1825-1

花北青雲高校 総務部 宛